

## 最近の管内経済概況

(2024年2月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、一進一退の動きとなっている。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数は同数、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

2024年4月18日

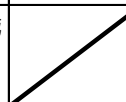
照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2024年4月現在)

| 発表月    | 2023年11月        | 12月           | 2024年1月       | 2月                                                                                                       | 3月            | 4月              | 前月との判断比較                                                                              |
|--------|-----------------|---------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 総括判断   | 緩やかに持ち直している     | 緩やかに持ち直している   | 緩やかに持ち直している   | 緩やかに持ち直している                                                                                              | 緩やかに持ち直している   | 緩やかに持ち直している     |    |
| 生産活動   | 弱い動きとなっている      | 弱い動きとなっている    | 弱い動きとなっている    | <u>一進一退の動きとなっている</u>  | 一進一退の動きとなっている | 一進一退の動きとなっている   |    |
| 個人消費   | 緩やかに改善している      | 緩やかに改善している    | 緩やかに改善している    | 緩やかに改善している                                                                                               | 緩やかに改善している    | 緩やかに改善している      |    |
| 観光     | 改善している          | 改善している        | 改善している        | 改善している                                                                                                   | 改善している        | 改善している          |    |
| 公共工事   | 増加した            | 増加した          | 増加した          | 増加した                                                                                                     | 増加した          | 増加した            |    |
| 住宅建設   | 弱い動きとなっている      | 弱い動きとなっている    | 弱い動きとなっている    | 弱い動きとなっている                                                                                               | 弱い動きとなっている    | 弱い動きとなっている      |    |
| 民間設備投資 | 増加している          | 増加している        | 増加している        | 増加している                                                                                                   | 増加している        | 増加している          |    |
| 雇用動向   | 弱含んでいる          | 弱含んでいる        | 弱含んでいる        | 弱含んでいる                                                                                                   | 弱含んでいる        | 弱含んでいる          |  |
| 企業倒産   | 件数は減少、負債総額は増加した | 件数、負債総額とも増加した | 件数、負債総額とも増加した | 件数、負債総額とも増加した                                                                                            | 件数、負債総額とも増加した | 件数は同数、負債総額は減少した |  |

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

# 生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている ～

2月の鉱工業生産は、前月比+3.6%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲1.4%と2か月連続で低下した。上昇業種は、輸送機械工業など9業種となった。低下業種は、パルプ・紙・紙加工品工業など4業種となった。

< 2月 >

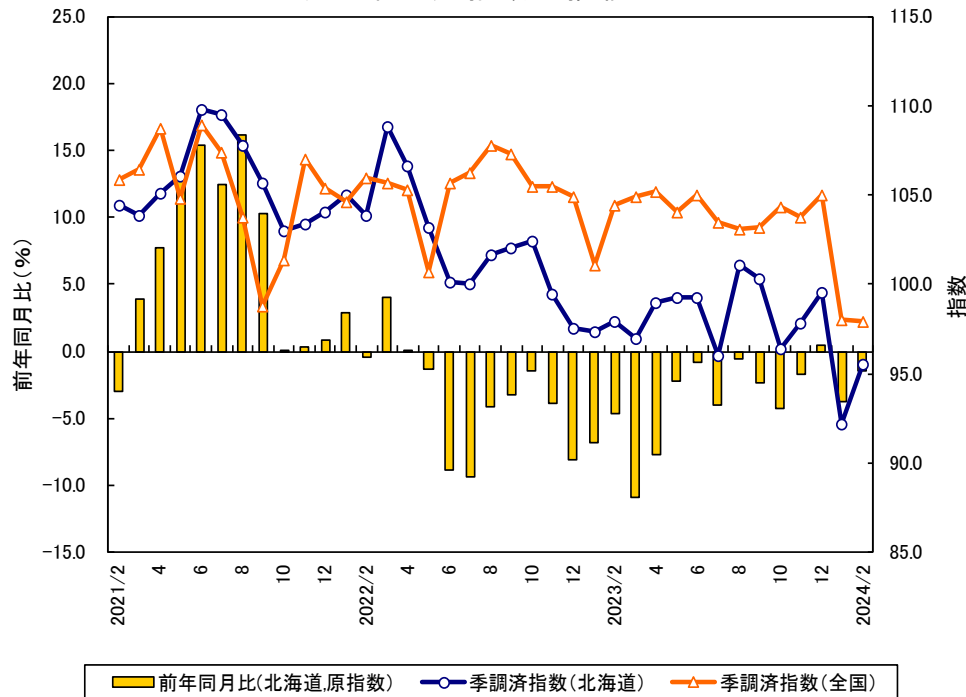
季節調整済指数

北海道（速報） 95.5（前月比+ 3.6%）

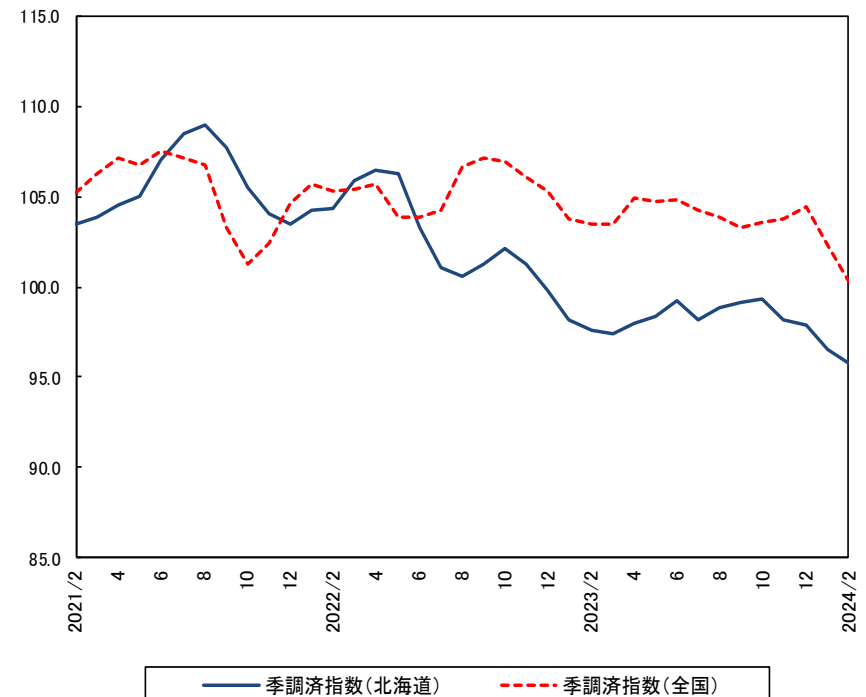
全 国（速報） 97.9（前月比▲ 0.1%）

|           | 業 種          | 前月比<br>(%) | 前年同<br>月比(%) | 主な品目      |
|-----------|--------------|------------|--------------|-----------|
| 上昇<br>9業種 | 輸送機械工業       | + 25.6     | ▲ 14.2       | 自動車部品     |
|           | 窯業・土石製品工業    | + 7.5      | + 0.8        | 生コンクリート   |
|           | 化学・石油石炭製品工業  | + 6.5      | + 15.3       | 化学・石油石炭製品 |
| 低下<br>4業種 | パルプ・紙・紙加工品工業 | ▲ 5.6      | ▲ 2.9        | 洋紙        |

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



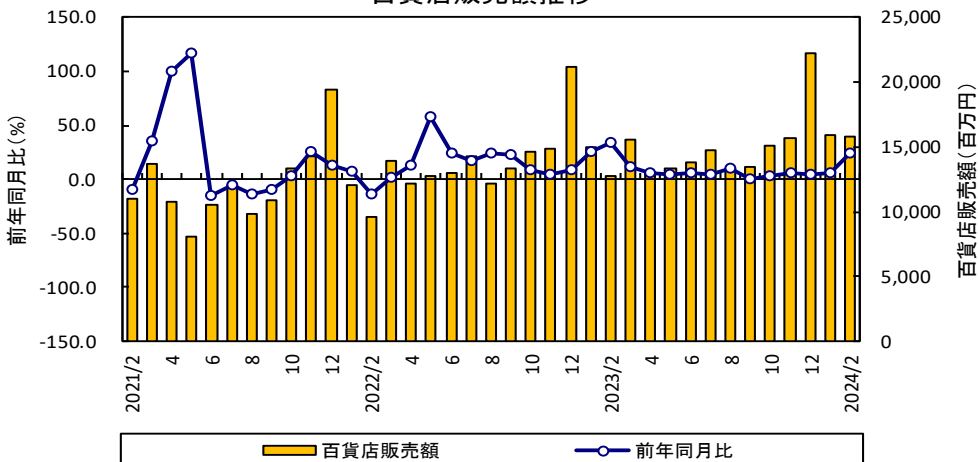
（資料：経済産業省、北海道経済産業局）

## 個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

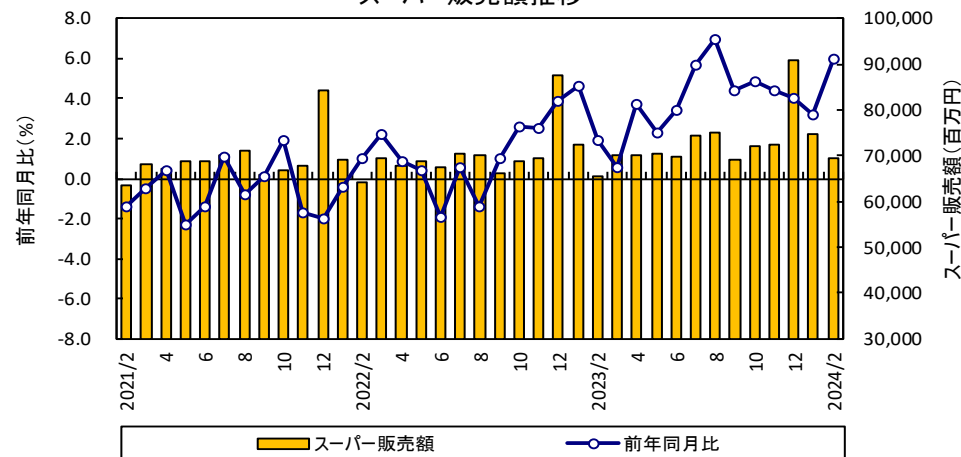
2月の個人消費は、新車販売が前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、衣料品の売上げが好調で、前年同月比+24.5%と24か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の売上げが増加し、同+6.0%と18か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+5.9%と28か月連続で前年を上回った。

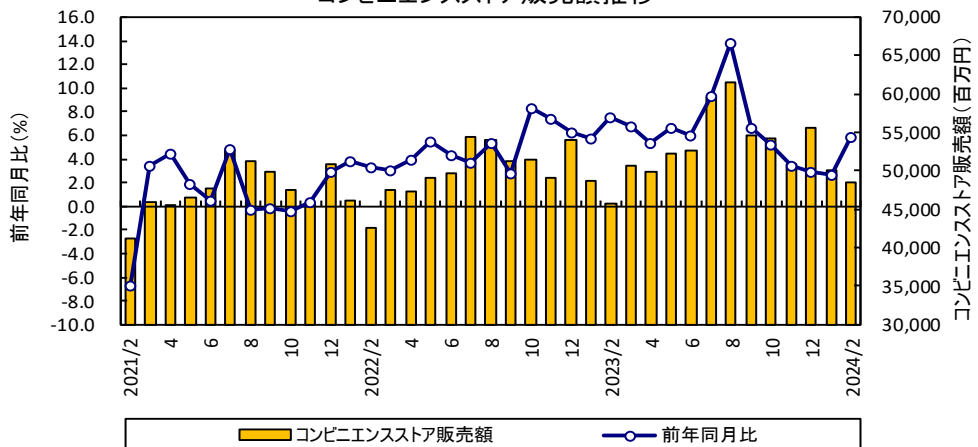
## 百貨店販売額推移



## スーパー販売額推移



## コンビニエンスストア販売額推移



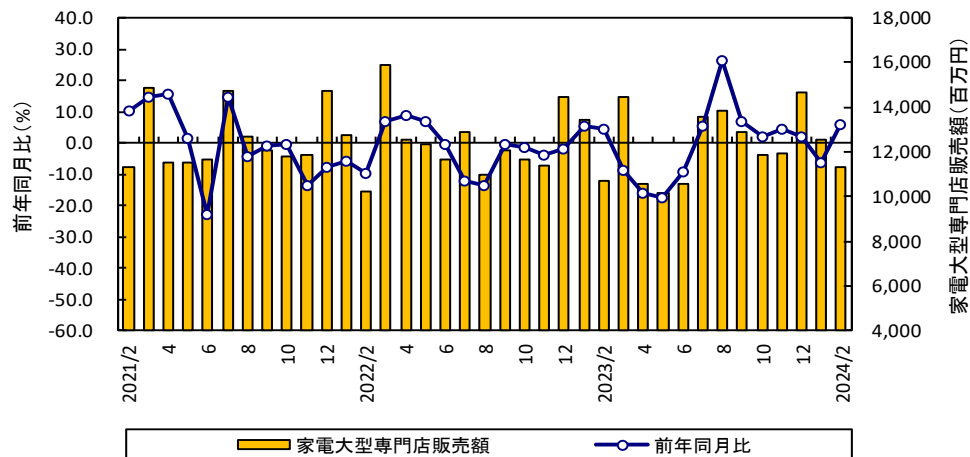
### 【ヒアリング内容】

- ・うるう年効果のほか、春節とさっぽろ雪まつりの影響で売上げが好調だった。雪まつり期間中はインバウンドの売上げが特に大きく伸長し、手土産需要から道産銘菓もよく売れた。また、春物やオケージョン用の衣料品のほか、インバウンド向けには高級ブランドの衣料品や真珠、時計の売上げ好調が続いており、バレンタインなどの催事も好評だった。(百貨店)
- ・うるう年効果で売上げが増加した。恵方巻きは予約販売が振るわなかったものの、節分の曜日良かったことから当日の売上げは好調だった。また、値上がり幅が大きい乳製品は買上点数が前年を下回ったものの、フロccoliーなどのサラダ野菜や価格が落ち着いていた小松菜などの季節野菜のほか、惣菜や冷凍麺の売上げが良かった。(スーパー)
- ・節約志向により、弁当などからおにぎりや惣菜パンなど単価の低い商品へとシフトしている。また、嗜好品であるたばこは買上点数と売上げが毎月低下しており、買い控えが続いている。一方で、スイーツでは高単価でも納得感が得られる商品は売れている。また、札幌中心部の店舗では、雪まつり期間中の比較で過去最高の売上げとなった店舗もあった。(コンビニエンスストア)

(資料：北海道経済産業局)

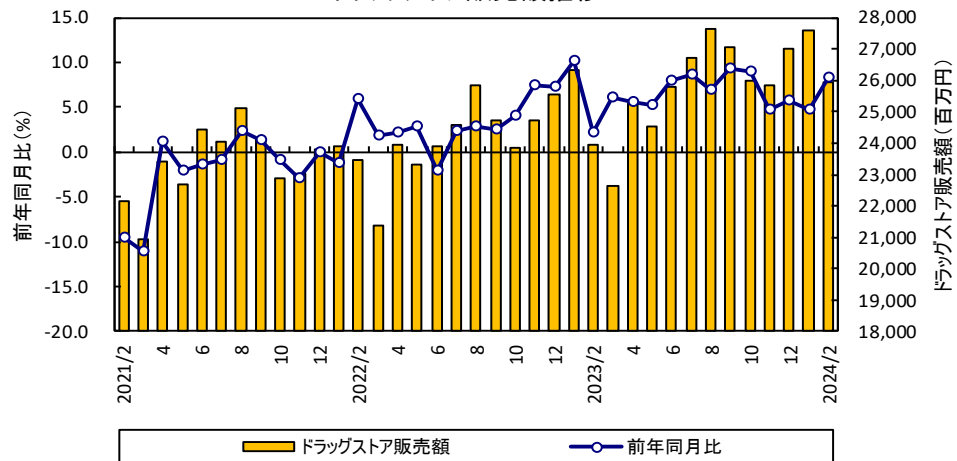
- ・家電大型専門店は、同+6.0%と2か月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは、同+8.3%と20か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+0.6%と3か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲21.6%と2か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



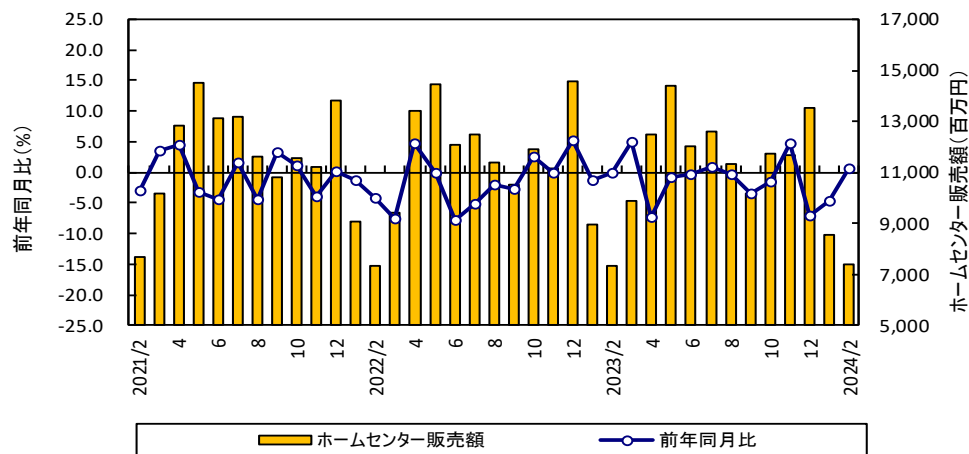
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



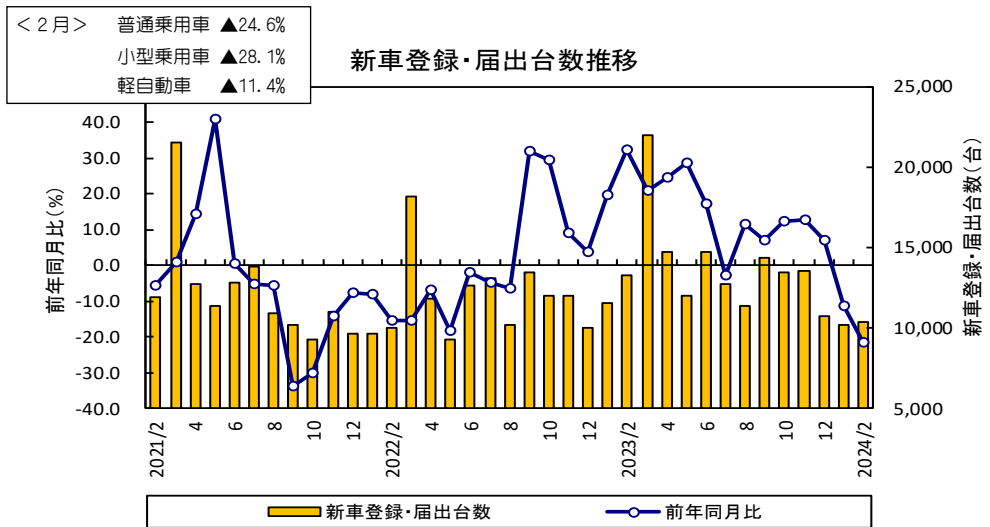
(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

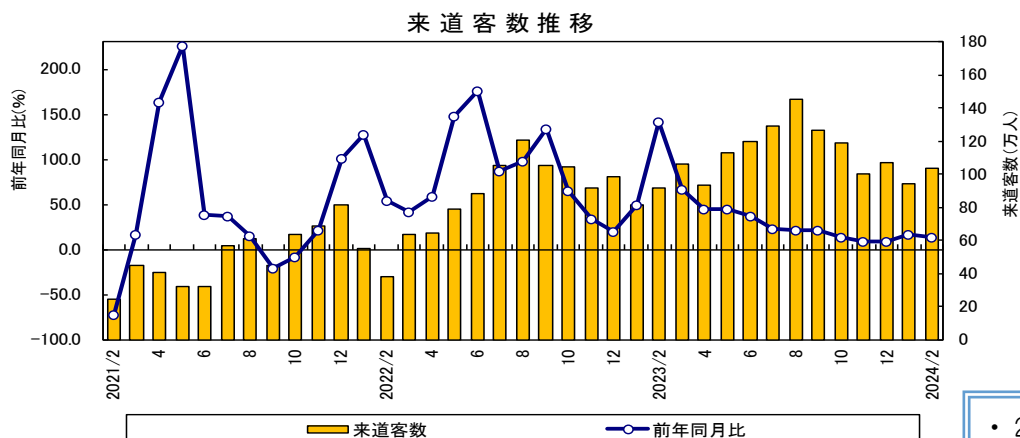
#### 【ヒアリング内容】

- ・来夏も見据えた購入が続くエアコンと単価の高いスマートフォンが売上げを牽引した。インスタントカメラが売れる傾向も引き続き見られた。(家電大型専門店)
- ・新型コロナウイルスやインフルエンザの流行から処方箋枚数が上振れする月が続いている。また、アジアコスメや冬の乾燥対策商品が好調なほか、男性化粧品品の売上げも伸長した。(ドラッグストア)
- ・暖冬の影響で暖房関連商品の売上げが良くなかった。一方で、肥料や薬品など園芸用品は前年よりも前倒しで売れ始め、売上げが好調だった。また、能登半島地震の影響から備蓄用の飲料や非常用簡易トイレなどの防災関連商品が1月から引き続き売れている。(ホームセンター)

# 観光 ～ 改善している ～

2月の来道客数は、前年同月比+13.4%と28か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+56.1%と20か月連続で前年を上回った。

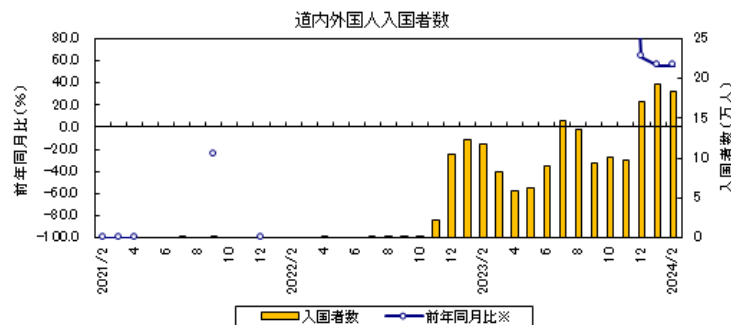
< 2月 > 入国者数 184,486人(+56.1%)



< 2月 > 来道客数 1,037,298人(+13.4%)

※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



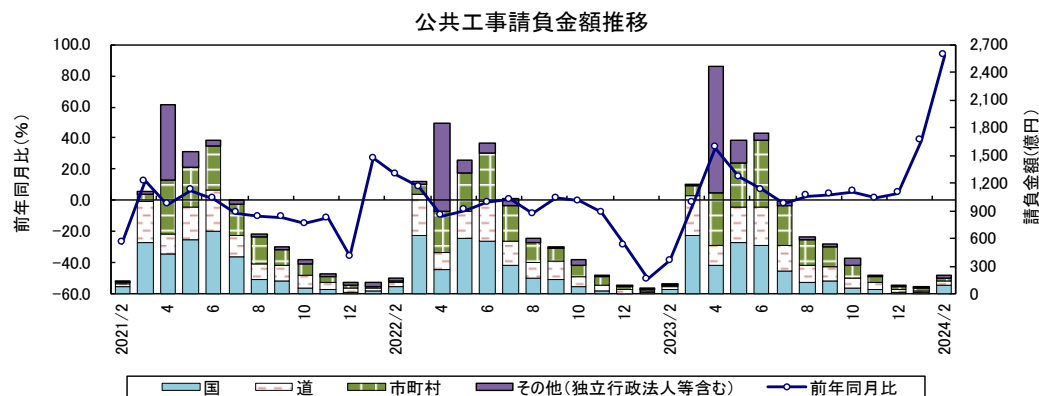
(資料：法務省)

※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

- ・2月は、雪まつりなどの冬季イベントもあり、国内客やインバウンド問わず多くの観光客がみられ、主要宿泊施設の稼働率も前年より好調だった。また、スキー場は欧米人のスキーヤーや雪遊びを楽しむアジア圏の観光客でにぎわっていた。3月は、卒業旅行シーズンとなり、道外から若者たちのグループやカップルが多くみられたものの、全体的な国内客の入込みは前年並みの見通し。(観光協会)

# 公共工事 ～ 増加した ～

2月の公共工事請負金額は、国、道、市町村全てで前年を上回り、前年同月比+93.4%と7か月連続で前年を上回った。



< 2月 >

北海道 +93.4%

(内訳)

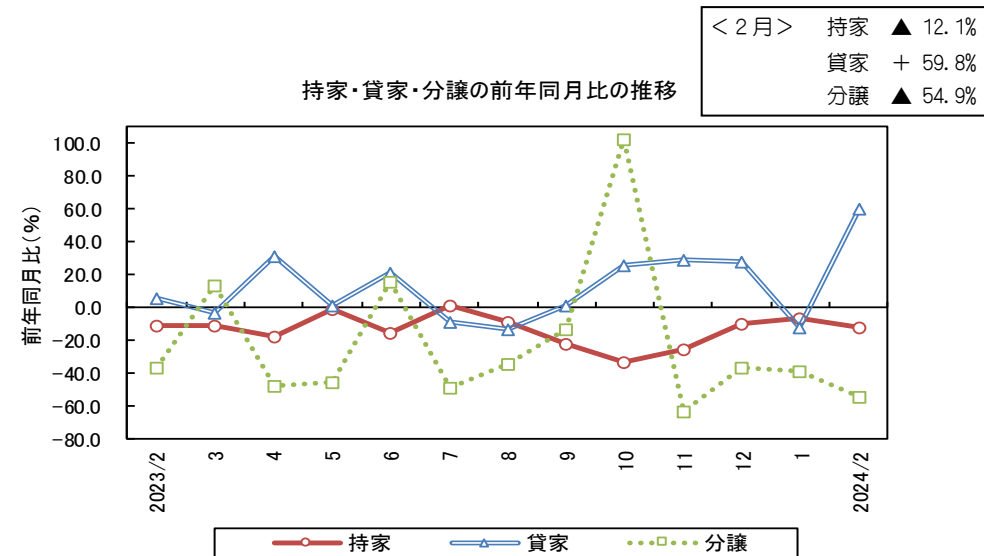
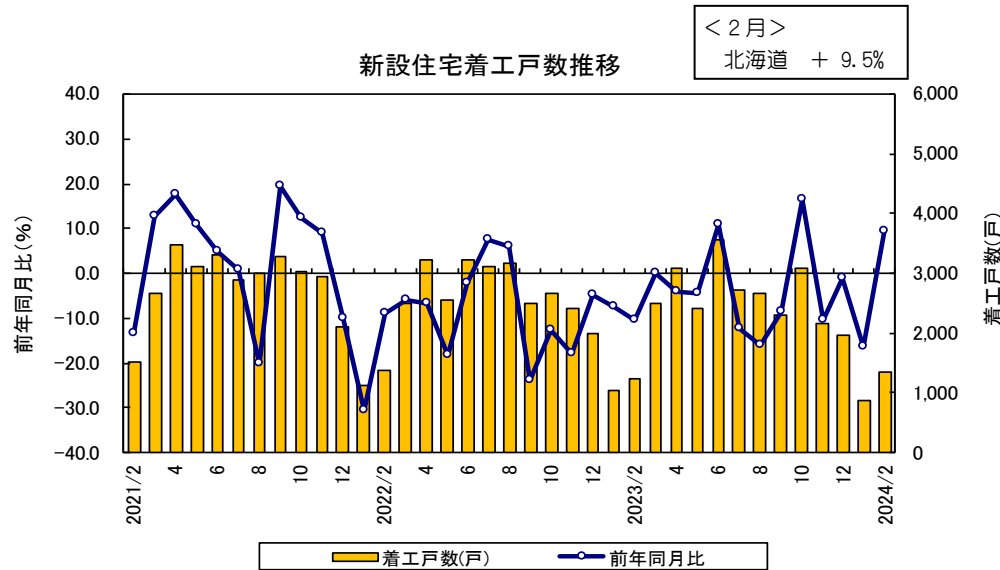
国 +120.7% 道 +21.7% 市町村 +72.6% その他 +325.7%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

2月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を下回ったが、貸家は前年を上回り、前年同月比+9.5%と4か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+4.3%と2年連続で前年度を上回った。

## 日銀短観の設備投資動向

2024年4月1日発表

|      | 2023年度  | 2024年度  |
|------|---------|---------|
| 北海道  | + 4.3%  | + 10.9% |
| 製造業  | + 33.5% | + 22.3% |
| 非製造業 | ▲ 6.1%  | + 5.1%  |
| 全国   | + 10.7% | + 3.3%  |

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年3月12日発表

|      | 2023年度  | 2024年度  |
|------|---------|---------|
| 全産業  | ▲ 13.8% | + 16.2% |
| 製造業  | + 27.9% | + 27.8% |
| 非製造業 | ▲ 23.5% | + 9.4%  |

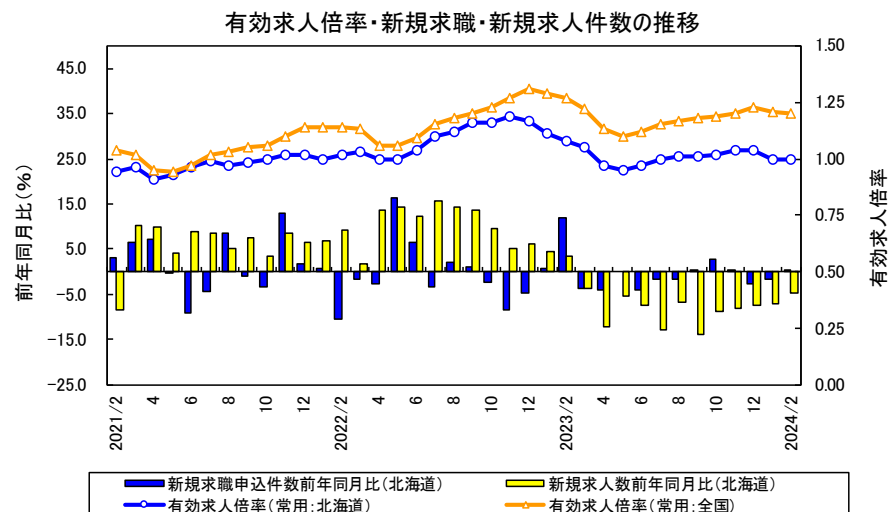
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

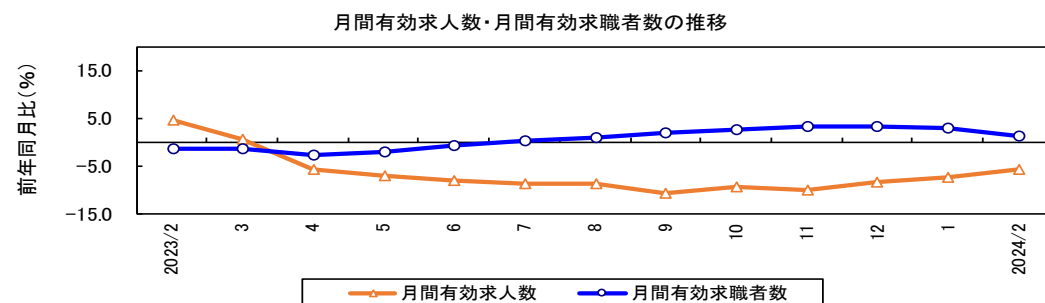
# 雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

2月の有効求人倍率は、1.00倍と前年同月差0.08ポイント低下し、11か月連続で前年を下回った。



|        |                 |        |  |
|--------|-----------------|--------|--|
| < 2月 > |                 |        |  |
| 北海道    | 有効求人倍率(常用)      | 1.00倍  |  |
|        | 新規求職人数(前年同月比)   | ▲ 4.6% |  |
|        | 新規求職申込件数(前年同月比) | + 0.1% |  |
|        | 有効求人倍率(常用)      | 1.20倍  |  |
| 全国     | 有効求人倍率(常用)      | 1.00倍  |  |
|        | 新規求職人数(前年同月比)   | ▲ 4.6% |  |
|        | 新規求職申込件数(前年同月比) | + 0.1% |  |
|        | 有効求人倍率(常用)      | 1.20倍  |  |

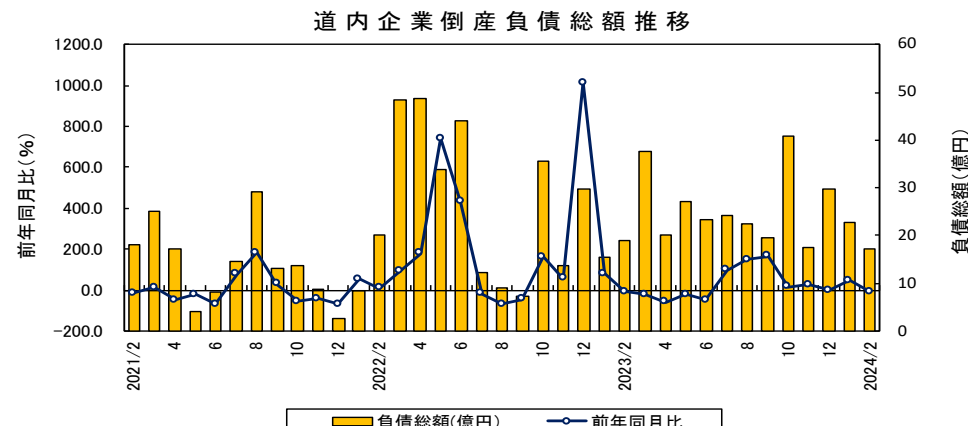
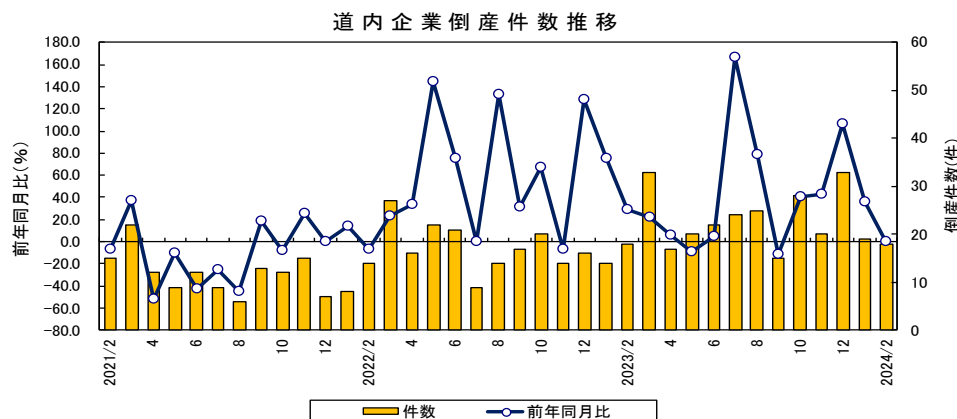
|          |                 |        |  |
|----------|-----------------|--------|--|
| < 2月 >   |                 |        |  |
| 月間有効求職人数 | (前年同月比)         | ▲ 5.7% |  |
|          | 月間有効求職者数(前年同月比) | + 1.4% |  |



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数は同数、負債総額は減少した ～

2月の倒産件数は18件で、前年同月と同数となった。また、負債総額は17.4億円で、同▲7.8%と8か月ぶりに前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)